

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2024. 5
No.369

新入社員諸君、ようこそイナテックへ

入社してから2ヶ月が過ぎようとしています。少しはまわりが見えるようになってきた頃と思います。

そんな時、入社式で皆さんに贈った式辞をもう一度紹介したいと思います。

2024年度 入社式 式辞

2024年度新入社員の皆様、入社おめでとうございます。イナテック本社に3名、イナテック鳥取に2名の方が入社していただきありがとうございます。

自動車業界が100年に一度と呼ばれる大変革期であると同時に、パレスチナ・イス

ラエル戦争や能登半島地震など、何が起こるか分からない世界が昨今、当たり前になつております。

不確実なことが多く変化の激しい中で「立ち止まることなく考え、進み続ける」ことが非常に大切です。昨日の常識が今日の常識ではなくなる時代の中で、「変化しない」ことは「置いていかれる」ことを意味します。誰かが考えてくれるのを待つのではなく、意志を持ち、自らが考え進み続け、変化に対応できる人財になってください。それが皆さんご自身の生き様であり、イナテックがそのような人の集団であり続けるからこそ発展できるのです。

新入社員の皆様には「常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて、素直な心で生きること」を期待します。そしてまずは、与えられた目の前の仕事に一所懸命取り組みことです。また、失敗を恐れず、全身全霊をかけて何事にも挑戦してください。そうすれば必ず成長します。貴方の成長は、会社の成長、ひいては世の中の成長に繋がるのです。

さらに、仕事を通して自分を磨いてください。学校生活とは違います。趣味や遊びでは、社会人として成長できません。先達は「趣味では人間は磨かれない。人は仕事を通してしか自分を磨くことはできない」と言い切っています。

そこで、次の言葉を贈ります。

「素直な人が伸びる」

成功しない人の四条件

- 一、言われた事しかしない人
- 二、楽をして仕事をしようとする人
- 三、続かないという性格を直さない人
- 四、すぐに不貞腐れる人

人間は趣味では絶対に人格は磨かれません。人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていきます。皆様のご活躍を大いに期待しております。よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

2024年4月1日

代表取締役社長 稲垣良次

向上

(稲盛和夫「考え方」より)

一日一日を無駄に過ごすことなく

全力を尽くして生きていく。

そのような向上心を持って、

倦まず弛まず努力を重ねていくことを

忘れてはなりません。

ちょうど前述で新入社員へ贈る言葉を記させていただきました。今まではどうあれ、常に向上心を忘れず努力すれば、誰でも成長できるということを稲盛氏は述べられています。

一步一步の努力の繰り返しが必要不可欠

(稲盛和夫「考え方」より)

植物の世界には、早く成長して実がなる

「早生」と、遅れて成長するがより大きな実

をつける「晩生」があります。同じように子

供にも、最初から利発で聡明なタイプもいれ

ば、はじめは勉強ができないけれど、だんだ

ん頭角を現していくタイプもあります。

新入社員諸君も何も慌てなくて良いということ。『晩生』でいいではありませんか。何せまだ人生70年あるのです。今からでも決して遅くはないのです。

但しそこには大切な条件があります。それは『素直な心』でなくてはならないのです。つまり「人の話をよく聴く」「常に明るく元気に」「ありがとうございます」と言える」ことです。イナテック社員の皆さんにも同じことが言えます。残りの人生があと10年としても今から「晩生」で始めようではありませんか。『生涯現役 一生勉強』

小学校や中学校であまり出来が良くないという子供でも決して悲観することはありません。自分は晩生で、遅れて成長するタイプの人間だと考え、心を入れ替えて努力しさえすればいいのです。自分には限らない可能性があるということを信じて、誰にも負けない努力をしていけば、人間は必ず大きく成長することができのです。

菜根譚後集

一〇〇

優人傳粉調珠、効妍醜於毫端、俄而歌殘場罷、妍醜何存。奕者爭先競後、較雌雄於着子、俄而局盡子收、雌雄安在。

俳優が白粉を付け紅をはいて化粧し、美人や醜婦をはけの先で自由に作り出しているが、やがて芝居の歌が終わり幕が降りると、さっきまでの美醜はどこにあらうか。また、碁打ちが先後後手と一手の先後を争い、勝敗を碁石を打つ手に競っているが、やがて対局が終わり碁石を片付けると、さっきまでの勝敗はどこにあらうか。

たつた一回しかない人生を、漠然と無意味に過ごすことほどもつたいないことはありません。一日一日をどのくらい真剣に生きるのか、日々一步一步の努力を繰り返すことによつて、人生や仕事は絶えず向上していくのです。また、それが我々人間の価値をもつていくのです。

イナテック社員の皆さんがこの『向上心』をもつて行動すれば、皆さん個人が成長することによつてイナテックが成長する、そして地域が成長し日本が成長し、その日本が世界の平和をつくる糧となる時が必ずやってくる私は信じております。

2025年には日本は

立上がる兆しが見えるであろう

2050年になったら列国は

日本の底力を認めざるを得ないであろう

日本には世界のリーダーたるべき

資格がある

森 信三 氏

